

第 13 章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12～16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は 1987 年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2023 年 4 月現在 63 地点で試掘調査および発掘調査が行われている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。



第 36 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第21表 神明後遺跡調査一覧表

地区 地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615.47		共同住宅	溝、須恵器片 等		町内Ⅲ
2	苗間 295-2、299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688		道路築造	古代住居跡 1、中近世掘建柱建物跡多数、 落とし穴、土坑、堀跡、井戸、地下式坑		町内Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200.03		分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、ビット、縄文土 器等		町内Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703.76		物置	遺構なし、縄文土器片		町内Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80.17		個人住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、縄文土器		町内Ⅵ
6	苗間 255、227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150.79		個人住宅	土坑、縄文土器片 等		町内Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460		個人住宅	地下室、縄文土器 等		町内Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.21 ~ 24)	458		共同住宅	集石土坑、土坑、溝、柵列、縄文土器片		町内Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219		共同住宅	縄文時代住居跡 4、集石土坑、落とし穴、 土坑、ビット、井戸、地下室、縄文土器 等		町内Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	(3)	個人住宅	遺構なし、縄文土器片		町内Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ~ 26	239	(97)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器 等		町内Ⅸ
12	苗間 282-2・5	(2000.3.6)	211	(8)	共同住宅	遺構遺物なし		町内Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	(154)	個人住宅	土坑、ビット、縄文土器 等		町内Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	(196)	共同住宅	中近世掘建柱建物跡 1、土坑、ビット、溝、 井戸、柵列、縄文土器 等		町内Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ~ 13	163	50	個人住宅	集石土器、縄文土器片		町内Ⅺ
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ~ 24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	189	個人住宅	竪穴状遺構、屋外埋甕、土坑、ビット、溝、 地下式坑、地下室、縄文土器 等		町内Ⅺ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	(7.5)	個人住宅	溝、砥石		町内Ⅺ
18	苗間 304-1、303-6	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.24	672	(220)	分譲住宅	縄文時代住居跡 5、炉穴、土坑、溝、ビット、 堀跡		町内Ⅻ、 大調 16
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216		個人住宅	溝		町内Ⅻ
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143		個人住宅	ビット、溝		町内Ⅻ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674		土地造成	土坑、ビット、井戸、地下室、段切、陶磁 器		町内Ⅻ
22	苗間 235-2・3	(2003.7.8 ~ 29)	430		分譲住宅	土坑、ビット、溝、井戸、陶磁器		町内Ⅻ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62		個人住宅	地下室、銭貨		町内Ⅻ
24	苗間神明後 293-4・10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148		個人住宅	遺構遺物なし		町内Ⅻ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660		店舗併用住宅	遺構遺物なし		町内Ⅻ
26	苗間神明後 301、303 -3 ~ 5・7、304-1	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	(160)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、土坑、溝、地下式坑、 縄文土器 等		大調 18
27	苗間 248-2、249-1	(2005.7.20 ~ 25) 2005.7.27 ~ 29	385	(80)	共同住宅	縄文時代住居跡 1		大調 18
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	(1,200)	宅地造成	縄文時代住居跡 11、古代住居跡 1、屋外炉、 集石、落とし穴、土坑、ビット、溝、堀跡、 墨書土器、縄文土器		市内 3
29	苗間神明後 303-21・ 24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	135.9	(52)	個人住宅	ビット、溝、縄文土器		市内 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101.13	(60)	個人住宅	ビット、縄文土器		市内 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	(72)	個人住宅	土坑		市内 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	(31)	個人住宅	遺構なし、泥面子		市内 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	(209)	個人住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、井戸、陶磁 器等		市内 6
33b			357		分譲住宅			
34	苗間字神明後 283-1、 284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	(357)	分譲住宅	縄文時代住居跡 1、集石、落とし穴、ビット		市内 5
35	苗間字神明後 293-6 ・20	(2008.8.1)	247	(26)	個人住宅	ビット、遺物なし		市内 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	(37)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	(27) 32.5	個人住宅	縄文時代住居跡 1、縄文土器		市内 8
38	苗間字神明後 292- 13、293-1	(2009.7.6 ~ 7) 2009.7.8 ~ 14	265.4	(118) 30	個人住宅	溝、縄文土器		市内 8
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	(114) 105	共同住宅	落とし穴、土坑、ビット、溝、地下式坑、 縄文土器		市内 7
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 16) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	47 (77)	個人住宅	竪穴状遺構、集石土坑、土坑、ビット、溝、 井戸、地下式坑、縄文土器		市内 8

地区 地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	開発面積 (㎡)	調査面積 (試掘)	調査原因	確認された遺構と遺物	備考	所収報告書
41	苗間字神明後 298-1、 299-1 の各一部	(2010.5.25 ～ 6.7) 2010.6.15 ～ 7.21	486.36	(400) 286	共同住宅	中世掘立柱建物跡 1、竪穴状遺構、石器集中、集石土坑、土坑、ビット、溝、木炭窯、石器 等		市内 9
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ～ 2)	312	(44)	宅地造成	遺構遺物なし		市内 10
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ～ 22) 2010.10.22	107	(42) 10	個人住宅	ビット、縄文土器 等		市内 10
44	苗間神明後 367-1、 368-1 の一部	(2011.7.8) 2011.7.11 ～ 13	1,535.9	(63) 21	個人住宅	落とし穴、遺物なし		市内 14
45	苗間神明後 235-9	(2011.12.5)	200	(61)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 14
46	苗間神明後 235-6	(2012.4.9 ～ 10)	233	(52)	個人住宅	土坑、縄文土器片		市内 15
47	苗間神明後 227-2	(2012.4.24) 2012.4.25 ～ 5.10	340	(55) 27.5	個人住宅	集石、ビット、縄文土器片		市内 15
48	苗間神明後 315-1 の 一部	(2012.5.7) 2012.5.8 ～ 14	171	(44) 26	個人住宅	土坑、ビット、溝、井戸、縄文土器 等		市内 15
49	苗間神明後 367-1、 368-6	(2013.1.30)	1,411.3	(8)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 15
50	苗間 375	(2013.12.11)	531.8	(31.7)	薬師堂	土坑、磁器 等		市内 18
51	神明後 295-1、297- 1・2 の一部、298-1、 299-1	(2014.11.5 ～ 13) 2014.11.20 ～ 25	487.33	(116) 42.5	共同住宅	土坑、溝、縄文土器		市内 16
52	苗間字神明後 231-1	(2015.1.28)	379	(44.4)	個人住宅	ビット、縄文土器片		市内 20
53	苗間字神明後 298-1	(2015.3.19)	495	(14.5)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 20
54	苗間字神明後 293- 7・9	(2015.12.3)	342	(6)	共同住宅	遺構遺物なし		市内 22
55	苗間字神明後 310-1 の一部	(2017.5.8) 2017.5.9 ～ 12	180	(28) 27.44	個人住宅	縄文時代住居跡 2、土坑、ビット、縄文土器 等		市内 24
56	苗間字神明後 374- 34	(2019.11.11)	255.58	(30.3)	個人住宅	遺構遺物なし		市内 25
57	苗間字神明後 310-9	(2020.1.21)	146	(15.46)	個人住宅	遺構なし、縄文土器		市内 25
58	苗間字神明後 301-1	(2020.6.26・29)	732.41	(35.7)	個人住宅	堀跡、縄文土器 等		市内 26
59	苗間字神明後 248-2、 249-1	(2021.9.6)	836.67	(62.75)	建物解体	堀跡、縄文土器 等		市内 27
	苗間字神明後 248-1、 264-2・4、250-5、 251-9	(2021.8.20)	1,013	(307.75) 62	道路築造	落とし穴、土坑、ビット、堀跡、溝、井戸、 陶磁器、古銭 等		市内 27
	苗間字神明後 248-6、 249-4	(2021.9.17)	456.59					
	苗間字神明後 250-2	(2021.12.13・16)	128					
60	苗間 367-1、368-1・ 4・5・6	(2021.9.7 ～ 14、 2022.1.5 ～ 14) 2021.1.17 ～ 21	2,909	(909.4) 60	分譲住宅	土坑、ビット、溝、井戸、縄文土器 等		市内 27
61	苗間字神明後 260 の 一部	(2021.9.22)	255	(43.74)	個人住宅	土坑、ビット、溝、縄文土器 等		市内 27
62	苗間字神明後 246-2、 247-3	(2021.11.4・5)	1,628	(52.8)	倉庫建設	遺構遺物なし		市内 27
63	苗間字神明後 246-2、 247-3	(2022.12.20)	56.4	(9.3)	物置・駐輪場	土坑、かわらけ、鉄滓		市内 28



第 37 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/2,000)

II 神明後遺跡第 63 地点

(1) 調査の概要

調査は物置及び駐輪場建設に伴うもので、原因者より 2022 年 12 月 2 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため 2022 年 12 月 20 日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約 1.5m のトレンチを 1 本設定し、重機による表土除去後に人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、土坑 2 基を確認した。写真撮影、全測図作成等の記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①土坑

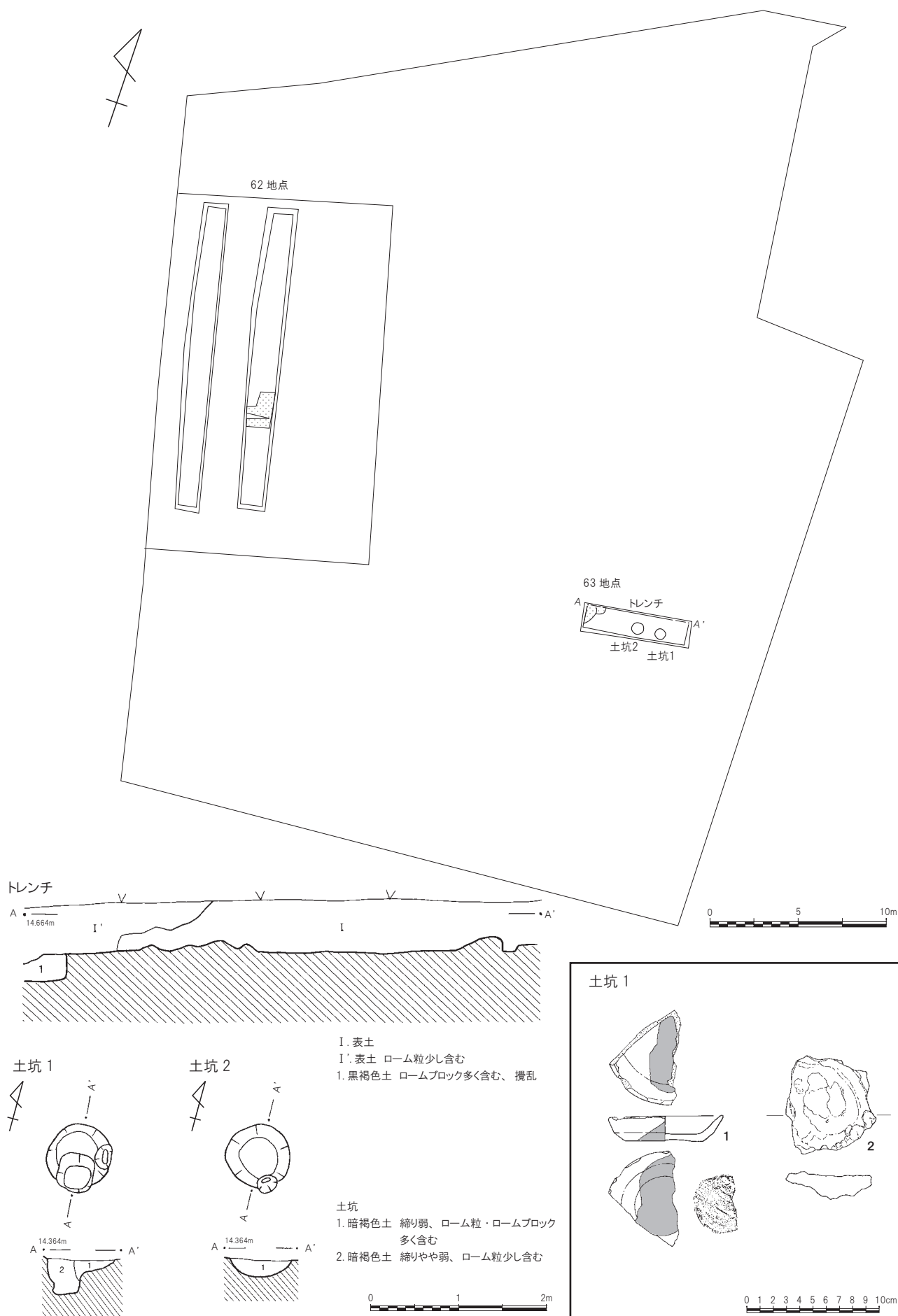
【土坑 1】調査区南西部で検出した。平面形態は円形。確認面の規模は 74 × 69 cm、底部は 28 × 26 cm、深さは 44.7 cm を測る。

【土坑 2】土坑 1 に隣接して検出した。平面形態は円形。確認面の規模は 72 × 72cm、底部は 46 × 40cm、深さは 24.8cm を測る。

②出土遺物

1 は中世のかわらけ。口径 8.6 cm、底径 5.8 cm、器高 1.9 cm で轆轤成形。底部右回転糸切り板状圧痕有り。体下部に腰をもち、僅かに内湾気味に立ち上がる。口唇の一部に欠け有り。また内外面の一部と口唇に所々タール状物質が付着する。灯明皿として使用されたものか。

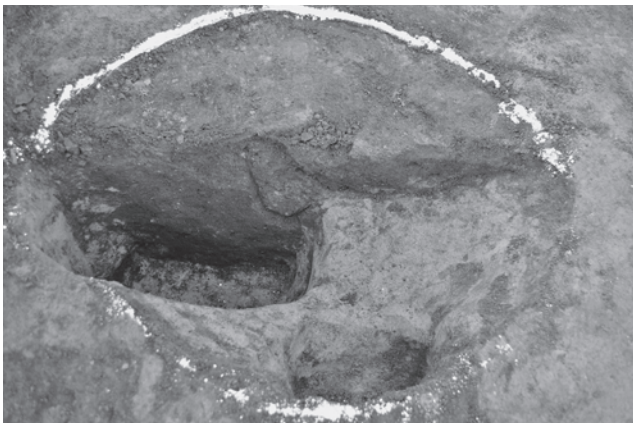
2 は碗形滓。長径 7.3 cm、短径 6.4 cm、厚さ 1.3 cm 小振りで、含鉄し全面融化する。下面の一部に小礫が付着する。1・2 いずれも土坑 1 から出土した。第 38 図参照。



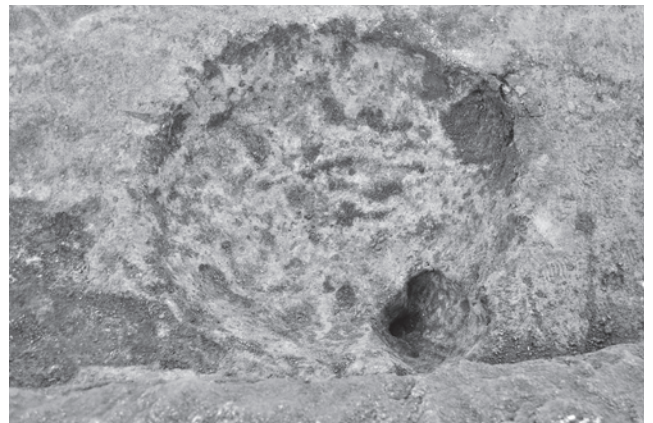
第38図 神明後遺跡第63地点遺構配置図(1/300)、土層・土坑(1/60)、出土遺物(1/4)



神明後遺跡第 63 地点トレンチ土坑 1・2



神明後遺跡第 63 地点土坑 1

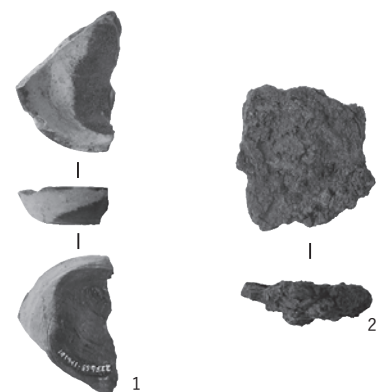


神明後遺跡第 63 地点土坑 2



神明後遺跡第 63 地点調査風景

土坑 1



神明後遺跡第 63 地点出土遺物